

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-009

PDCA	事務事業名	公民館管理運営事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当	鈴木	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 2. 公民館活動					
		単位施策： (1) 自主的な公民館活動の促進					
	根拠法令等	社会教育法、半田市立公民館条例、半田市立公民館条例施行規則					
	対象・目的	公民館及び生涯学習施設が、地域住民の生涯学習の活動拠点とし活用されることにより、地域の絆づくりを深め、住民の自治能力を高める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	地域選出の公民館職員が地域のニーズを的確に捉え、多世代の参加、交流を図った事業を開催する。また、施設の利便性、快適性を確保し、利用の促進を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①地区公民館利用件数	25,960	30,108	27,376	件	
		②さくら・横川小学校生涯学習施設利用件数	617	737	690	件	
		③地区公民館ふれあい事業開催件数	183	251	231	件	
		事業費	67,714	73,204	65,093	千円	
		人件費	6,852	9,184	7,411	千円	
		総事業費	74,566	82,388	72,504	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①地区公民館利用者1人あたりのコスト	190	191	196	円		
	②さくら・横川小学校生涯学習施設利用者1人あたり	79	83	73	円		
	③地区公民館1人あたりのふれあい事業コスト	158	176	202	円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①地区公民館稼働率(集会室・ホール)	実績値	77.6	76.8	73.8	%
			目標値	78.0	78.0	77.0	
②地区公民館ふれあい事業参加者数		実績値	33,394	30,120	25,863	人	
		目標値	20,000	33,000	31,000		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		公民館の利用件数は昨年を下回り、公民館稼働率・ふれあい事業利用者は目標を下回る結果となった。公民館の存在意義はあると考えられるものの、より一層の参加者増加のためには、毎年同じ事業だけでなく魅力あるふれあい事業を新たに企画していくことが課題である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		地域住民が公民館に行きたいと思える身近な存在となる公民館づくりを行い、幅広い年齢層向けに考えた企画・事業を開催する。公民館が地域住民から身近な存在となるようPRや広報を行うとともに、新たな利用者の開拓を図っていく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①地区公民館稼働率(集会室・ホール)	60		%		
		②地区公民館ふれあい事業参加者数	15,000		人		